

今後とも、諸先生方のご指導、ご鞭撻を賜ります様よろしくお願い

努力させて頂く所存であります。

表彰委員として

龍濤会 齋木 泰徳

平成二十八年四月二十八日 第五回世界武徳祭並びに第五十四回全国武徳祭開会式が執り行われました。開会式での私の役割は、表彰委員という大役を仰せつかりました。大変貴重な経験をさせていただきありがとうございます。

武徳祭開催前に行われた国際武道講習会にも講師として参加させていただいた折、代表理事濱田鉄心先生より、重要な役割があるとのこと、緊張感が一度に高まりました。

講習会后、旧武徳殿にて代表理事濱田鉄心先生より上村先生と共に開会式での役割の説明を受け、リハーサルを行いました。役割とは、東伏見慈晃総裁をはじめ表彰者の方へ賞状と盾を順に渡すことでした。当日は、会場にて表彰の順と受賞者の確認を事務局と一緒に、準備に不備はないか、また、リハーサルで行った立ち位置の確認を再度行いました。一通り準備が終わり、参加者の方たちも概ね着席され、東伏見慈晃総裁、彬子女王殿下が来場されるのを待つのみとなりました。

その時です、壇上に向かって左側の扉が急に開き強風が吹きこんできました。即ホテルの方に来ていただきましたが、なかなか閉めることができない程でした。数分後、無事何事もなく扉は締められました。

風が吹きこんだ瞬間に会場が清められたような感覚がありました。

開会式が始まり、表彰式に入りました。受賞者の方にとって、受賞するこの一瞬は二度と帰ってきません。壇上に上がり、一切の粗相がないよう努めさせていただきました。

四年に一度の本世界武徳祭に演武者としてだけでなく運営側となつて参加させていただいたことは、貴重な経験と共に、私の武道史に深く刻まれたことは間違いありません。至らぬことも多くあったかと存じますが、引き続きご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

第五回世界武徳祭・ 第五十四回全国武徳祭に寄せて

日本古武道直心会 会長 石本 一平

平成二十八年四月二十九日に第五回世界武徳祭ならびに第五十四回全国武徳祭が開催されました。

旧武徳殿は、戦前の武道専門学校の時代から使用されてきた建築物であり、武道を極めんとし、この地で修練を重ねてきた先人の数多の英霊が宿る地でもあります。今大会は、三笠宮の彬子女王殿下にご臨席賜り、旧武徳殿の玉座に御掛けになられましたことは、特に印象深く、大会に参加された会員のみならず、旧武徳殿に宿る英霊も大変感激されたことと思います。